

# 地理歴史(世界史) (2025)

- (注意事項)
- 1 問題文は24ページあります。
  - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
  - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
  - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
  - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
  - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次のA～Dの資料とそれに続く文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。なお、資料の表記等の一部改変を加えてある。

A 「アッカドの王、イナンナ女神の代理者、全土の王、アヌ神のバシシュ神官、国土の王、エンリル神のための支配者たる( 1 )は、ウルク市との戦いに勝利し、50人のエンシを、イラバ神の棍棒をもって、ウルクの町と同様に打ち、その城壁を破壊した。そして彼は、ウルクの王ルガルザゲシを戦いのなかで捕らえ、軛をつけてエンリル神の門へ引き出した。」

上の資料は、前24世紀半ばに初めてメソポタミア南部を統一したアッカド王の事績を記した碑文を、<sup>2</sup>古バビロニア王国（バビロン第1王朝）時代に書き写した粘土板写本の一節である。

出典：歴史学研究会編『世界史史料1』，岩波書店，2012年

〈設問〉

(1) 空欄1に入る人物は、次のうち誰か。

1

- ① アメンヘテプ4世（アクエンアテン）
- ② クフ
- ③ サルゴン1世
- ④ ハンムラビ
- ⑤ モーセ

(2) 下線部2に関する記述a～cの正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

2

- a アラム人が建国した。
- b ヒッタイトにより滅ぼされた。
- c ラメス（ラメセス）2世と戦った。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

B 「<sup>じょうしょう</sup>丞相<sup>おうわん</sup>の王綰らが奏上した。『諸侯がすべてやぶれ去って、天下ははじめて統一されま

したが、<sup>えん</sup>燕・<sup>せい</sup>齊・<sup>けい</sup>荆の地は僻遠にあります。これらの地には王をおかなければ鎮定できません。どうか諸公子を王にお立てください。陛下には、さいわいに聴許なされますように。』

始皇帝は、この建議を群臣にくだして論議させた。その結果、群臣は<sup>3</sup>それが便利であると認めたが、<sup>てい</sup>廷尉【司法の最高官】の( 4 )だけが異議を申し立てた。『……【という理由で】諸侯をおくことはよろしくありません。』

始皇帝はいった。『天下がともに戦闘に苦しんで休息できなかったのは、諸侯というものがあつたからである。いま、わが宗廟の<sup>れい</sup>靈威によって、天下ははじめて安定した。しかるに、また諸侯の国を立てるのは、兵乱のもとを樹立することである。かくては安寧・休息を求めても至難のことではないか。廷尉の意見はもっともである。』

そして、天下を分けて三十六郡とし、郡ごとに守・尉・監をおいた。」

上の資料は、始皇帝による統治策について記した司馬遷の『史記』の一節である。

出典：野口定男他訳『中国古典文学大系 10』，平凡社，1968年

〈設問〉

(3) 下線部3が意味するものは、次のうちどれか。

3

- ① 郡県制
- ② 州県制
- ③ 都城制
- ④ 府兵制
- ⑤ 封建制

(4) 空欄4に入るのは後に丞相となる人物だが、次のうち誰か。

4

- ① 韓非(子)
- ② 商鞅
- ③ 鄭玄
- ④ 蘇秦
- ⑤ 李斯

C 「1661年5月1日から本1662年2月1日までフォルモサ〔台湾〕のゼーランディア城を包囲していたテイビン・チアンテ・テイシアンコン・コクシンおよび( 5 )国を代表して同城の長官フレデリク・コイエットおよび彼に従う評議会との間に結ばれた、下記の条項より成る条約。

第一条 双方が行なった敵対行為は忘れられなければならない。

第二条 ゼーランディア城およびその外郭施設、火砲、残存している武器、食料、商品、現

金，および会社に属するその他の品々は<sup>こくせんや</sup>国姓爺<sub>6</sub>【明朝の姓である朱姓を賜った方】  
殿に引き渡されるべきものとする。

【中略】

この条約は双方によって然るべく署名され，約束されたことはその通りに実行された。われわれは武器弾薬，食料品，その他合意の成立した品々を船に運びこんだ。われわれは，完全武装で，軍旗をひるがえしてゼーランディア城を退去し，同城を国姓爺の代理人に引き渡した。彼は部下を率いて城内に入った。」

上の資料は，1662年に<sup>7</sup>台湾から撤退したコイエット長官が1675年に出版した『閑却された  
フォルモサ』の一節である。

出典：歴史学研究会編『世界史史料4』，岩波書店，2010年

生田滋訳

〈設問〉

(5) 空欄 5 に入る国は，次のうちどれか。

5

- ① イギリス
- ② オランダ
- ③ スペイン
- ④ フランス
- ⑤ ポルトガル

(6) 下線部 6 の人物は，次のうち誰か。

6

- ① 呉三桂
- ② 張居正
- ③ 鄭成功
- ④ ブーヴェ
- ⑤ ホンタイジ

(7) 下線部7を併合した清朝の皇帝の事績に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

7

- a 三藩の乱を鎮圧した。
- b ジュンガルを滅ぼした。
- c ヨーロッパ船の来航を広州1港に制限した。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

D 「陛下、【会議の議長である】( 8 )氏と【イギリス代表の】カースルレー卿は、プロイセン政府に対して、ポーランド問題で共同歩調をとるように説得しました。しかし、彼らがプロイセンの協力を当てにして抱いた希望は、長続きしませんでした。<sup>9</sup>ロシア皇帝が数日前、プロイセン国王を晩餐に招いたのです。その際、二人が交わした会話の詳細のいく分かはアダム・チャルトリスキを通じて知ることができました。皇帝は国王に対して両者を結びつけていた絆を思い起こさせ、自分がどれほどその絆を大切にしてきたか、それを永続的なものにするためにこれまでどれほどの努力を払ってきたかを述べたそうです。……国王は皇帝に、<sup>10</sup>ポーランド問題で皇帝を支持することを誓いました。このプロイセンの態度の変化は、( 8 )氏とカースルレー卿をいたく狼狽させました。」

上の資料は、フランス外相がウィーンから国王に宛てた1814年11月12日付け書簡の一節である。

出典：歴史学研究会編『世界史史料6』、岩波書店、2007年

〈設問〉

(8) 空欄 8 に入る人物に関する記述 a ～ c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

8

- a アルジェリアに軍事侵攻した。
- b 三月革命後に首相に就任した。
- c フランス革命の理念を正統とする正統主義を唱えた。

- ① すべて誤り
- ② a のみ正しい
- ③ b のみ正しい
- ④ c のみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(9) 下線部 9 の皇帝は、次のうち誰か。

9

- ① アレクサンドル 1 世
- ② アレクサンドル 2 世
- ③ エカチェリーナ 2 世
- ④ ニコライ 1 世
- ⑤ ピョートル 1 世

(10) 下線部 10 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

10

- ① ウィーン条約によりロシア皇帝がワルシャワ大公を兼ねることとなった。
- ② ヴェルサイユ体制下、ピウスツキはクーデタを企てて政権掌握をはかったが失敗した。
- ③ コシュートはアメリカ独立戦争に参加した後、この国の分割に抵抗する運動を指導した。
- ④ 独ソ不可侵条約締結後、ドイツ軍とソ連軍はこの国に侵攻した。
- ⑤ ポーランド人は同じ南スラヴ人のクロアチア人などとともにギリシア正教を受け入れていた。

Ⅱ 次の文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

東地中海世界での民族移動が激化するなか、前1200年頃に突然エーゲ文明は崩壊し、その後、数世紀にわたって「暗黒時代」と呼ばれる無文字社会が訪れた。そして、これも突然、前8世紀の前半に、ギリシア本土で農業上の変革を背景に人口が急増し、多数のポリス（都市国家）が成立した。ギリシア人はフェニキア人との交流を通じて自らの言語を書き記す文字アルファベットを作り出し、再度、歴史時代に足を踏み入れることとなった。

ポリスには通常、小高い丘アクロポリスの上にそれぞれの守護神を祀る神殿が建てられ、その麓にはギリシア語で（ 1 ）と呼ばれる広場とさまざまな公共施設を持つ地区があり、その周りを市民の家屋が建ち並んでいた。これがポリスの中核で、多くが籠城戦に備える周壁で囲まれていた。その外には市民の持分地のある田園地帯が広がっていた。アテネとスパルタはギリシアポリスとしては異様なくらいの大きさを持っていたが、それでも佐賀県程度の広さしかなかった。通常のポリスは一つの盆地にいくつかのポリスといった程度の規模しかなく、市民は誰もが顔見知りの共同体であった。こうしたポリスは、大植民時代を経て数にして1500程にも上ったという。

ポリス成立時の政体は王政ないし貴族政であったが、やがて貴族と平民との間の抗争が激化し、ほとんどのポリスでこれを解決するために、立法者、調停者、僭主が現われた。アテネでは、前7世紀後半にドラコンが成文法を制定して以降、法の恣意的な運用ができなくなり、民主化をめぐる闘争をつうじて法の文面を手掛かりとする法社会が生まれた。それに基づいて、前6世紀初頭に改革が行なわれたものの抗争はなおも収まらず、無産市民らの支持を受けた貴族（ 3 ）が政権を掌握して僭主となり「革命独裁」をはじめた。その後、皮肉にも僭主に保護されて自立した中小農民の力を背景に僭主政は打倒され、<sup>4</sup>新たなポリスの仕組みを構築するために改革が実施された。この改革でアテネ民主政の枠組みが整い、マックス=ヴェーバーのいう重装歩兵民主政の段階に移行した。それは武具を自弁しつつ自らの持分地で自給自足できる有産者の政治で、有力貴族と上層平民の連携を意味した。

ペルシア帝国の支配下にあったイオニア地方の諸ポリスがミレトスを中心にペルシア帝国に叛旗を翻した。これを機にいわゆるペルシア戦争がはじまった。前490年のマラトン戦ではアテネ重装歩兵密集隊が中心となりペルシア軍を撃退した。10年後のクセルクセス1世の親征では、レオニダス王の率いるスパルタ軍が全滅したが、アテネの将軍テミстокレスが拡充した海軍がサラミスでフェニキア・ペルシア連合艦隊を破り、翌年にこの戦争は事実上終結した。

アテネはペルシア再来に備えて<sup>5</sup>デロス同盟を結成した。アテネ国内では、マラトンで戦った重装歩兵保守民主派とサラミス海戦で漕ぎ手として活躍した無産市民急進民主派との抗争が続いた。結局、後者の支持を受けた<sup>6</sup>ペリクレスがアテネの最盛期を生むことになる。「名は民主

政だが、実際は一人支配」と評されたこの時代、彼の周りには歴史に名を残す文化人が集まった。悲劇作家で政治家・将軍でもあったソフォクレス、彫刻家フェイディアス、「歴史の父」ヘロドトスなどである。

アテネとその同盟国が海上覇権を掌握すると、各地でスパルタを盟主とするペロポネソス同盟諸国との間で紛争や代理戦争がはじまり、両陣営とも盟主に懲罰を訴え始め、ついに前431年、ギリシア世界は二手に分かれて「世界大戦」に突入した。30年近く続いたこの戦争はアテネの無条件降伏と非武装化で終わった。戦後の混乱を見据えた民会が宣言したアムネスティ（忘却令）により戦中の言動に対する訴追が法的に不可能となったなか、いわば別件の瀆神罪で起訴され処刑されたのが哲人（ 7 ）である。

紀元前4世紀のギリシア世界は多極化し、さらにポリス内部の問題に外交問題が絡んで展開した。アテネはペルシアの資金で再軍備を開始し、再び海上同盟を結成した。そして、エパミノンドスの指導するテーベが勃興し、前371年にはレウクトラ戦でギリシア最強とされてきたスパルタ軍を破るにいたった。

こうしてポリス世界が多極化してペルシアの介入を招きながら互いに抗争を続けるなか、ドルリス系ギリシア人の一派と見られるマケドニア人は、ポリスを形成することなく、ポリス世界の北方で豪族連合王国を形成していた。この王国は、アルゲアス朝の王フィリッポス2世の下で勃興した。彼は老獪な外交でポリス世界を取り込み、前338年のカイロネイアの戦いでアテネ・テーベ連合軍を打倒した。これはポリスの時代が過ぎ去り、コスモポリスの時代の到来を予感させるものであった。戦後、コリントスにポリスの代表者が集い、マケドニア王の監視下にコリントス同盟が結成され、ペルシアへの遠征軍派遣決議が下された。

フィリッポス2世の暗殺後に即位したアレクサンドロスは東方遠征に出立した。ヘレニズム時代のはじまりである。連戦連勝を続けたアレクサンドロス軍は、ペルシア帝国打倒後も東方への遠征を続け、インド内部の抗争に介入していき、（ 8 ）。

アレクサンドロスは部下の反対もあって軍を引き返すこととし、その途上（ 9 ）で客死した。その後、彼の残した帝国の後継者をめぐってディアドコイ戦争が続いたが、これはイプソス戦でほぼ決着がついた。ヘレニズム時代にマケドニアとギリシアを統括したのはアンティゴノス朝であった。この王朝は東方に進出するローマとの数度にわたる戦争の結果、前168年に征服され、前148年には属州マケドニアとしてローマに統合された。前146年、ギリシア本土でローマに対抗していたアカイア同盟もローマの軍門に下り属州アカイアが設けられた。その間、ローマ上流階級の子弟はギリシア語とギリシア文献を学び、ギリシア人学者の講演を聞き、さらにギリシア留学をするのが、教養人としての証のようになった。<sup>10</sup>ローマ人はギリシア・ヘレニズム文化の最大の信奉者であったが、法律と土木技術の分野では独自性を発揮し、後世に大きな影響を与えることとなった。

〈設問〉

(1) 空欄 1 に入る語としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

11

- ① アゴラ
- ② カタコンベ
- ③ クレーロス
- ④ コロッセウム
- ⑤ フォルム

(2) 下線部 2 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

12

- ① クレイステネスが調停者として改革を断行し、血縁ではなく財産額の多少に応じて政治的な権利義務を定める財産政治を始めた。
- ② この改革によって負債は帳消しにされ、以降、借財を負った市民を奴隷として売ることが禁止された。
- ③ それまでに積み重なっていた負債を負った市民にはポリスから債務額に相当する額の給付金が支払われ、債務者はそれで債権者に返済した。
- ④ 長年の従軍で農地を手放した市民を再び重装歩兵にするために、公有地を彼らに割り当てて債務奴隷化を禁止した。
- ⑤ 非常時には独裁官（ディクタトル）が独裁権を行使できるようにした。

(3) 空欄 3 に入る人物は、次のうち誰か。

13

- ① アISKYロS
- ② グラックス
- ③ ソロン
- ④ ピタゴラス
- ⑤ ペイシストラトス

(4) 下線部4に関する次の記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

14

- a オストラキスモスの制度がつくられた。
- b 旧来の10部族制を血縁共同体である区（デーモス）を基礎として4部族制に改めた。
- c 傭兵や軽装兵の使用も広まった。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(5) 下線部5に関する次の記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

15

- a アテネのような民主政が加盟諸国を中心に広まった。
- b 加盟諸国は後にアテネの市民権を求めて同盟市戦争を起こした。
- c 同盟は民主的に運営され、同盟の基金も加盟国全体で管理し続けた。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(6) 下線部6に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

16

- ① 叙事詩人ホメロスが活躍した。
- ② ソリドゥス金貨が流通するようになった。
- ③ 中国から養蚕技術が伝わった。
- ④ パルテノン神殿が建てられた。
- ⑤ プルタルコスが『対比列伝』（『英雄伝』）を著した。

(7) 空欄 7 に入る人物の直接の弟子の作品は、次のうちどれか。

17

- ① 『アエネイス』
- ② 『国家』
- ③ 『自省録』
- ④ 『世界史序説』（『歴史序説』）
- ⑤ 『博物誌』

(8) 空欄 8 に入る文章としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

18

- ① アショーカ王と戦いを交えたため、後にこの地にガンダーラ美術が生まれた。
- ② この混乱から南アジアで最初の統一王朝であるマウリヤ朝が成立した。
- ③ これを避けたチャンドラグプタ王は首都をプルシャプラにおいた。
- ④ パンジャーブ地方にあったサータヴァーハナ朝が滅亡した。
- ⑤ 仏教の成立をうながした。

(9) 空欄 9 に入る都市に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

19

- ① 東西交渉路をおさえたパルティア王国の首都として栄えた。
- ② キュロス 2 世はここにいたユダヤ人（ヘブライ人）を捕囚から解放した。
- ③ 現在のサウジアラビアにその遺跡が残る。
- ④ 4 世紀に遊牧民フン人が到来した。
- ⑤ ビザンツ帝国時代にハギア=ソフィア大聖堂が建てられた。

(10) 下線部10に関する次の記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

20

- a 現行のグレゴリウス暦の元となったユリウス暦は、エジプトの太陽暦を採用したものである。
- b 思想面ではゼノンを祖とするストア派の哲学が、ローマの政治家や知識人の間で流行した。
- c ローマの支配が拡大するにともない、ローマ法はしだいに万民法としての性格を強めていき、これがヨーロッパ近代法にまで影響を与えた。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

Ⅲ 次のA～Bの文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A 日本には東西交易でもたらされた文物が数多く残されている。珍しい色合いとデザインをもつ魅力的な文物の一つに、西方から伝わったガラス製品が挙げられる。5世紀後半に造られた奈良橿原の新沢千塚古墳群からは、深い紺色のガラス皿が出土している。日本だけではなく、<sup>1</sup>後漢の時代に造られた江蘇省の甘泉二号墓からも紫黒色にマール文様のついたガラス杯の断片が出土している。どちらもローマンガラスとよばれるガラス器であり、ローマ帝国期に生産されはじめた。各地に点在する工房で作られたのち、海上交易を経てユーラシアの東方に伝わった。<sup>2</sup>朝鮮半島南の東沿岸部に位置する国の古墳や中国の<sup>3</sup>魏晉南北朝時代の墳墓からもローマンガラスが出土している。これらは、東ローマ帝国の時代に黒海東岸を起点とする草原ルートから伝わったとされる。

一方、正倉院に所蔵されている白瑠璃碗や紺瑠璃杯は、胴部から下部にかけてカット装飾や円環文を施すササンガラスの一つである。ササン朝ペルシアの第2代皇帝( 4 )が遠征した際にシリアのガラス職人を移住させたことに由来する。白瑠璃碗と同じガラス器は、6世紀に造られたと言われる安閑天皇陵という前方後円墳からも出土している。また<sup>5</sup>隋唐の時代の東アジア各地には円形で厚手のササンガラスが多くもたらされた。8世紀になると、ソグド人の交易を通じて西方から伝わったイスラームガラス器が広まり、唐との交流を経て、日本の正倉院には白瑠璃瓶が、唐招提寺にはガラス舍利瓶がもたらされた。これらもイスラームガラスと言われている。ガラス製法は後に中世ヨーロッパで発達していくものの、それ以前にユーラシア各地の人々は、様々なガラス製品を堪能していたのである。

〈設問〉

(1) 下線部1の時代に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。 21

- ① 呉楚七国の乱の平定後、中央集権的な専制国家の形が整った。
- ② 蔡倫は紙の製法を大幅に改良した。
- ③ 司馬遷が『史記』をまとめ、伝説の時代からの歴史を紀伝体で記した。
- ④ 董仲舒などの儒家の意見を採用して国家体制の維持に努めた。
- ⑤ 武帝は、地方長官に官吏候補者を推薦させる郷挙里選を実施した。

(2) 下線部 2 に関する記述 a ～ c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

22

- a この国は、大祚榮が建国し、日本とも通交した。
- b 朝鮮史の三国時代の三国とは、高句麗、加耶（加羅）とこの国を指している。
- c 唐と結んで勢力をのばすが、のちに高句麗に滅ぼされた。

- ① すべて誤り
- ② a のみ正しい
- ③ b のみ正しい
- ④ c のみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(3) 下線部 3 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

23

- ① 義浄は仏典を求めてインドに留学し、旅行記『仏国記』を著した。
- ② 寇謙之を信任した北魏の太武帝は道教を弾圧した。
- ③ 司馬睿が実権を握り、東晋を滅ぼして北魏を建国した。
- ④ 西魏をついだ北斉が東魏を受けた北周を併合した。
- ⑤ 北魏では均田制が施行され、戸籍を整備するため三長制も実施された。

(4) 空欄 4 に入る人物は、次のうち誰か。

24

- ① アルダシール 1 世
- ② ガザン=ハン
- ③ シャープール 1 世
- ④ ダレイオス 1 世
- ⑤ ホスロー 1 世

(5) 下線部 5 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

25

- ① 隋は突厥を打ち、高句麗への出兵を成功させ、支配した。
- ② 節度使の安祿山が反乱を起こして後梁を建て、唐は滅亡した。
- ③ 則天武后が貴族を重用したため、科挙官僚はしだいに衰えた。
- ④ 太宗（李世民）の時代は、内政が整えられ、開元の治とたたえられた。
- ⑤ 楊堅（文帝）は、律令を制定し、租庸調制をとりいれた。

B 中国が地中海、アラビア海、インド洋をまたぐ「海の道」へ目を向けるきっかけは、まず

秦の始皇帝による南方への勢力拡大があろう。人工水路である湘桂運河が開かれ、珠江と長江の支流を繋いで南方から中原への交通ルートが開発され、南海三郡が置かれた。つづいて漢代には、現在の広東・広西・ベトナム北部にあたる地域に南海九郡が置かれ、インドシナ半島や南インドの国々との交流が始まった。マラッカ海峡やインドシナ半島南部の地域では港市国家が建設され、香辛料や絹、茶、陶磁器などの交易によって栄えた。9世紀には海を通じてジャンク船にのる中国人商人やダウ船にのるムスリム商人が行き来して活発な交易を行った。その後、元（モンゴル）もまたアジア海域へ進出し、ベトナムや日本、朝鮮に大きな影響を与えた。

とりわけ西方からの文化でインドシナ半島に大きな影響を与えたのはイスラーム信仰である。15世紀にマラッカの王がイスラームに改宗したのを契機に、東南アジア各地にイスラームが拡大していった。現在のマラッカやクアラルンプールの街中には、ヒンドゥー寺院や仏教寺院と並んでモスクが多く立ち並び、歴史的に宗教文化が共存してきたことを表している。マラッカ王国は、東南アジア最大の中継貿易の拠点となるとともに、明、琉球、朝鮮そして日本を繋ぐ遠隔地貿易の一拠点ともなった。さらに、16世紀以降にはヨーロッパ勢力が「海の道」に参入していく。その間にインド南部や中国南部からも多くの人々が移動したことから、今日の東南アジアでは多様なルーツと言語を含む人々と文化を受け入れる複雑な社会が形成されたと言える。

#### 〈設問〉

(6) 下線部6に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

26

- ① この地に都を置いたカニシカ王は大乘仏教を厚く保護した。
- ② グプタ朝は、2世紀末にインド洋交易で栄え、この地にバラモン教や仏教を根づかせた。
- ③ チャンドラグプタ2世の時代に唐の玄奘が訪れてこの地のナーランダー僧院で学んだ。
- ④ チョーラ朝がスリランカやスマトラに軍を派遣し、宋に使節を派遣した。
- ⑤ 7世紀前半にハルシャ=ヴァルダナがこの地の大部分を統一した。

(7) 下線部7に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

27

- ① アユタヤ王国は、内陸の物産をタイランド湾沿岸に集め、中国や琉球に供給した。
- ② シャイレンドラ朝は、ジャワ中部にアンコール=ワットを造営した。
- ③ シュリーヴィジャヤは、大乘仏教を導入し、ボルネオ島を中心に栄えた。
- ④ チャンパーは、モン人によって建てられ、チャオプラヤ川下流域に発展した。
- ⑤ パガン朝では上座部仏教が広まり、ボロブドゥールが建造された。

(8) 下線部 8 では19世紀にフランスと結びつきの強い王朝が現れるが、それは次のうちどれか。

28

- ① 阮朝
- ② 胡朝
- ③ 陳朝
- ④ 李朝
- ⑤ 黎朝

(9) 下線部 9 に関してもっとも時代の新しい出来事は、次のうちどれか。

29

- ① オランダ支配に対する大規模な反乱（ジャワ戦争）がおこった。
- ② ビルマがインド帝国に併合された。
- ③ ファン=ボーイ=チャウが独立をめざし、維新会を組織した。
- ④ ペナン、マラッカ、シンガポールからなる海峡植民地が成立した。
- ⑤ ラーマ 4 世が西洋諸国に対し自由な貿易を認めた。

(10) 下線部10に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

30

- ① 国王はイスラームに改宗したが、その後アユタヤ朝が再びこの国を支配した。
- ② この国はイギリスと協定を結び、マラッカ海峡を境界とする支配圏の分割を取り決めた。
- ③ この国は、建国当初よりポルトガル商人が香辛料・綿布・宝石・銀をもたらし、海の交易が発展した。
- ④ スペインに占領されると、中国商人がスマトラ島やジャワ島に新たな交易拠点をつくって対抗した。
- ⑤ 鄭和艦隊の補給基地となって台頭し、やがて世界有数の交易港に発展した。

Ⅳ 次の文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

古代の集落や都市では、神殿や宮殿などを取り囲むように人々の住居が建てられ、全体を猛獣や外敵などから守るための壁、城壁、石垣、あるいは堀などが設けられ、外部との往来にはいくつかの門を設けるのが通例だった。もちろん例外はあり、たとえばクレタ（ミノス、ミノア）文明の（ 1 ）宮殿には、そうした城壁がない。その理由として、「パクス=ミノアーナ（ミノス王の平和）」が指摘されるが、その「平和」は強大な王権の存在を反映したものと考えられている。

壁は個人や共同体の生活に安全な場を提供するいっぽう、建てる意図によっては、人々を分断し、外からの移民や避難民の前に立ちはだかる障壁となることがある。そうした分離壁は世界史上数多く建設されてきた。

万里の長城は、騎馬遊牧民の侵入を防ぐために統一前に諸国が設けた防壁を始皇帝が繋いでできたものだった。当時の馬は比較的小型だったためさほど高い壁ではなかったが、明代後期には現在残る規模に修築された。

ローマ帝国でも国境線の役割を果たしたリメスと呼ばれる防壁が異民族の侵入を防ぐために建設された。なかでも知られているのが、ケルト人の侵入を防ぐためにイングランド北部に設けられた<sup>2</sup>ハドリアヌスの長城である。また、<sup>3</sup>ゲルマン人の大移動は、騎馬民族フン人の侵攻から逃れた西ゴート人がウァレンス帝の許可のもと、リメスを越えて帝国内に難民として移動したことが発端となって始まった。

現代でも分離壁は人々を分け隔てる役割を果たしている。1948年に始まった<sup>4</sup>ベルリン封鎖は翌年に終わったが、1950年代半ばまでに東西冷戦の枠組みはほぼできあがるいっぽう、1950年代後半以降の「平和共存路線」すなわち「雪どけ」が実現するかにみえた状況下で、その出来事は起こった。1961年8月13日午前0時、突如、東ドイツが西ベルリンを包囲するように東西ベルリン間と東西ドイツ間の往来を遮断したのである。その瞬間にどちら側にいたかで、友人や家族、親族が引き裂かれた。有刺鉄線が張りめぐらされ、堅牢な壁が建設され、西側へ亡命しようと壁をよじ登る市民が射殺される事態も起きた。こうして建設されたベルリンの壁は、1962年の<sup>5</sup>キューバ危機と同じように、大国が<sup>6</sup>核戦争の可能性をも視野に置きながら、危険な駆け引きをする時代の到来を象徴していた。その壁はゴルバチョフの進めたペレストロイカに触発された<sup>7</sup>1989年の民主化運動の激動のなかで崩壊した。そして、五・四運動70周年記念行事やゴルバチョフ訪中を迎えた同年、それまでの改革開放政策のもとで経済成長が進んでいた中国でも、政治体制の改革が進まないことに反発する学生や市民の民主化運動が高揚した。政府は戒厳令を布告して彼らの運動を弾圧し<sup>8</sup>天安門事件が起こったが、その結果は東欧とは別の形をとることとなった。

パレスティナのヨルダン川西岸地区では、イスラエルが分離壁の建設を始めたことをうけて、国際司法裁判所は2007年に国際法違反の勧告的意見を出した。バンクシーが手掛けた「世界一眺めの悪いホテル」は、8 mの高さの分離壁に面して建てられている。

<sup>9</sup> アイルランド北部のアルスター地方では、1960年代後半にカトリック系住民とプロテスタント系住民との間の紛争が激化し、ここでも両者を隔てる分離壁を挟んで激しい抗争が続いた。この紛争の解決の糸口はなかなか見つからなかったが、ようやく1998年になって和平が成立した。

2017年にアメリカ合衆国大統領に就任したトランプは、移民対策という大統領選での公約どおり、( 10 )との国境にある壁を修築し、国境線に沿った分離壁の建設を始めた。

〈設問〉

(1) 空欄 1 に入るものは、次のうちどれか。

31

- ① クノッソス
- ② ダマスクス
- ③ テル=エル=アマルナ
- ④ ピュロス
- ⑤ ミケーネ

(2) 下線部 2 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

32

- ① キリシト教を国教とした。
- ② 五賢帝のひとりである。
- ③ ササン朝との抗争で捕虜となった。
- ④ 税収入を確保するためにコロヌスを土地に縛り付けた。
- ⑤ ローマ帝国の版図を最大とした。

(3) 下線部 3 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

33

- ① ヴァンダル人は北アフリカに移動して建国した。
- ② カエサルは原始ゲルマン社会を記録した『ゲルマニア』を著した。
- ③ クローヴィスはアリウス派に改宗し、ローマ教会との結びつきを強めた。
- ④ ゲルマン人傭兵隊長テオドリックは、西ローマ皇帝を退位させた。
- ⑤ 西ゴート人はコンスタンティノープルを略奪した後、小アジアに建国した。

(4) 下線部4に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

34

- a 封鎖時のアメリカ合衆国大統領はケネディだった。
- b 封鎖のさなか西ベルリン市民に必要な物資は西側諸国が鉄道で届けた。
- c ソ連は西側地区の通貨改革に反対し、西ベルリンへの交通を遮断した。

- ① すべて誤り
- ② a のみ正しい
- ③ b のみ正しい
- ④ c のみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(5) 下線部5に関する記述 a～c の正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

35

- a アメリカが海上封鎖を断行したことでソ連との間で一触即発の危機状態となった。
- b ソ連がキューバでミサイル基地の建設に着手して始まった。
- c フルシチョフが基地建設を断念して戦争は回避された。

- ① すべて誤り
- ② a のみ正しい
- ③ b のみ正しい
- ④ c のみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(6) 下線部6に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

36

- ① 核拡散防止条約（NPT）は国連で全加盟国が調印して採択された。
- ② 科学者たちはアインシュタインやラッセルらの呼びかけにより、1957年にカナダのパグウォッシュで核兵器廃絶を求める会議を開催した。
- ③ 米英仏ソ中印パ7 か国の間で部分的核実験禁止条約（PTBT）が調印された。
- ④ 米中間で中距離核戦力（INF）全廃条約が調印された。
- ⑤ 米露間で包括的核実験禁止条約（CTBT）が調印され発効した。

(7) 下線部7に起こった出来事でないものは、次のうちどれか。

37

- ① コメコンとワルシャワ条約機構の解体
- ② チャウシェスク大統領の逮捕と処刑
- ③ ハンガリーにおける複数政党制の導入
- ④ ホネカー政権の崩壊
- ⑤ ポーランドにおける自主管理労働組合「連帯」を中心とした連立政権の発足

(8) 下線部8を機に総書記を解任されたのは、次のうち誰か。

38

- ① 華国鋒
- ② 江沢民
- ③ 胡錦濤
- ④ 趙紫陽
- ⑤ 鄧小平

(9) 下線部9に関する記述a～cの正誤の組合せとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

39

- a グラッドストン内閣はアイルランド自治法案を提出し成立させた。
- b クロムウェルはこことスコットランドを征服した。
- c 第二次世界大戦中に独立をめざす勢力が反英蜂起（イースター蜂起）を起こした。

- ① すべて誤り
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ cのみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(10) 空欄10に関連する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

40

- ① アメリカのウィルソン大統領はここにある運河の管理権を握った。
- ② インカ帝国は15世紀半ばにここで成立した。
- ③ ここはボリバルによってスペインから独立した。
- ④ トゥサン＝ルヴェルチュールが自治政府を成立させた。
- ⑤ ナポレオン3世はここに軍を派遣して、帝政を樹立させた。

V 次のA～Bの文章を読み、設問(1)～(10)に対する答えをそれぞれ①～⑤から1つ選んで、その記号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A 近世におけるイギリスと北米大陸との関わりは、15世紀末にイギリス南西部の港町を出発したカボットが現在の<sup>1</sup>カナダ東部に位置するニューファンドランド島へと到達したことに始まったと言って良いだろう。しかし、イギリスが本格的に北米大陸に進出し、植民地を形成するのは17世紀に入ってからである。17世紀以降、北米大陸へはイギリスから多くの移民が渡っていくことになり、北米大陸北部はイギリス本国製品の重要な市場となっていく。一方、北米大陸南部においては<sup>2</sup>奴隷貿易によってアフリカ大陸から強制的に連れてこられた人々がタバコプランテーションなどで労働に従事し、そこで生まれた富はイギリス本国の人々やヨーロッパ系入植者の利益となっていた。

北米大陸はヨーロッパ各国の利害が対立する場でもあった。<sup>3</sup>名誉革命以降、イギリスと<sup>4</sup>フランスは北米大陸にてたびたび軍事的な衝突をしていく。北米大陸におけるヨーロッパ勢力の主導権をめぐる両国の対立は、植民地の維持と拡大を狙ったものであり、それはヨーロッパやインドでの戦争とも連動し、しばしば大規模なものとなっていった。フレンチ=インディアン戦争（ヨーロッパでは七年戦争）を経て北米大陸東部にてフランス勢力を圧倒することに成功したイギリスではあるが、度重なる戦争による戦費の増大に苦しむこととなる。戦争後の財政的な困難を解消するための負担を北米植民地にも求めたことから植民地側はイギリス本国に反発し、最終的に<sup>5</sup>アメリカ独立という結果に至った。そして、アメリカ独立後はイギリスにとっての北米大陸の焦点はカナダへと移ることとなる。

〈設問〉

(1) 下線部1に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

41

- ① この地域は当初イギリスの流刑植民地だったが、19世紀半ばに金鉱が発見されると移民も増加して発展し、先住民のマオリ人は奥地に追われた。
- ② 19世紀、イギリスは広大な植民地帝国の維持と拡張を進めたが、その負担の大きさからこの地域を含む白人植民者が多い植民地を直接支配に切り替えた。
- ③ 17世紀前半からここへの進出を始めたオランダは、セントローレンス河口にケベック植民地を建設した。
- ④ 1931年のウェストミンスター憲章によってこの地域を含む自治領は本国と対等の地位を認められた。
- ⑤ 1713年のユトレヒト条約により、イギリスはハドソン湾一帯・アカディアを喪失した。

(2) 下線部2に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

42

- ① アメリカ合衆国で奴隷解放宣言が発せられるまで、イギリス領植民地における奴隷制も維持された。
- ② イギリスによる大西洋でのこの貿易がさかんだった時代、スタンリーらの探検によってアフリカ大陸内部の様子が次第に明らかになっていった。
- ③ オランダはスペインやポルトガルの貿易独占に対抗し、アジアやアメリカ大陸に進出したが、大西洋奴隷貿易には参加しなかった。
- ④ この貿易が盛んになるにつれて、イギリスの港町リヴァプールは衰退していった。
- ⑤ 西アフリカのベニン王国など、奴隷貿易に協力する国もあらわれた。

(3) 下線部3に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

43

- ① この出来事ではチャールズ1世が率いる王党派が最初優勢であったが、最終的には議会議派が内戦に勝利した。
- ② この出来事によって即位したウィリアム3世のもと、イギリスは同じプロテスタントのオランダと同君連合となった。
- ③ この出来事により議会在採択した人権宣言は、人間の自由と平等をうたい、議会議を主権者と定めた。
- ④ この出来事を受けて、イギリスはロシアやプロイセンなどと共に第1回対仏大同盟を結成した。
- ⑤ この出来事を経て制定された権利の章典は、立法や財政などにおいて国王の権力が議会の権限に優越することを宣言し、立憲君主制が解体された。

(4) 下線部4に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

44

- ① エジプトは1875年にスエズ運河会社の持ち株をこの国の首相に売却した。
- ② この国に建てられたサンスーシ宮殿は、繊細で優美なロココ様式の建築であった。
- ③ この国にて上流婦人が主催するサロンは、新しい思想の普及の場ともなった。
- ④ この国の人物であるデカルトは、多数の事例から一般的な命題を導き出す帰納法を確立し、大陸合理論の出発点となった。
- ⑤ 19世紀後半、この国はエジプトを保護国とし、サハラ砂漠地域から南アフリカへとアフリカを縦断することをめざした。

(5) 下線部5に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① これによって成立した国家の政治からは南部の黒人奴隷や先住民も排除されず，建国当初より白人中心の国家としての性格は弱かった。
- ② スペインなどヨーロッパ諸国が相次いでイギリスを支援したものの，イギリスは苦境に立った。
- ③ その結果は，広大な君主国の誕生として，同じく君主国の多かったヨーロッパに衝撃を与えた。
- ④ そのさなか発表された独立宣言は，自然法理論にもとづいて基本的人権をうたった。
- ⑤ フランス革命から大きな影響を受けていた。

B ソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）は壮大な実験だった。数世紀にわたって君臨した帝政を倒し，マルクス・（ 6 ）主義に基づく国家としてソ連は発足する。覇権主義を伴ったロシア革命はロシア周辺の地域や民族にも及んだ。自治を求めたウクライナ<sup>7</sup>を吸収したほか，帝政ロシア時代より支配下に置いていた中央アジアの民族を力づくでソ連の権力に従わせた。ソ連に隣接したバルト3国<sup>8</sup>も後に併合の憂き目に遭う。混乱と血にまみれた国家形成の過程は，やがて訪れる国家の瓦解を暗示させるものだった。

資本の個人所有を否定する社会主義は，強権的な体制を招きかねない。ソ連において個人崇拜と権力の硬直化が生じたのは必然だろう。最高指導者スターリン<sup>9</sup>は専制的な統治を行い，粛清と弾圧を繰り返した。失政によって数百万の餓死者が生まれたことも記憶されるべきだろう。スターリン以降の時代においてもソ連の基本体制は変わらず，共産党の一党独裁に基づく政治が続いた。

勢力圏拡大を指向したソ連は中東欧にも影響力を広げる。第二次世界大戦後，ソ連は中東欧諸国において決して民主的ではない形で共産主義政権を樹立させる。モスクワの共産党指導部はこれらの政権の維持にあたっても力を行使した。ハンガリーとチェコスロヴァキア<sup>10</sup>で起きた事件はその典型である。

東側陣営を率いたソ連だが，硬直した政治体制は永くは続かなかった。1980年代後半，アメリカとの競争に疲弊し，国内，そして中東欧諸国で民主化運動が高じるにつれ，体制の維持は難しくなった。1991年12月，ゴルバチョフ大統領の下，ソ連は69年の歴史に終止符を打ち，15あった連邦構成共和国はそれぞれの道を歩むこととなる。

〈設問〉

(6) 空欄 6 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

46

- ① 四月テーゼを発表し、戦争の即時終結や臨時政府の打倒をとらえた。
- ② 世界革命路線を主張するトロツキーを追放した。
- ③ フランスのサン=シモンがこの人物に刺激を受け、社会主義思想を構想した。
- ④ エンゲルスとともに『共産党宣言』を発表した。
- ⑤ メンシェヴィキの指導者としてモスクワで社会革命党を設立した。

(7) 下線部 7 に関する記述 a ～ c の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

47

- a 独立を宣言したが、ロシアのケレンスキーが送った軍隊によって倒された。
- b ボリシェヴィキに対する抵抗が強く、1922年のソ連結成には加わらなかった。
- c ロシアのプーチン政権は2014年、この国の南部のクリミア半島に侵攻し、ロシアへのこの半島の併合を一方的に宣言した。

- ① すべて誤り
- ② a のみ正しい
- ③ b のみ正しい
- ④ c のみ正しい
- ⑤ すべて正しい

(8) 下線部 8 に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

48

- ① エストニアは1905年にフィンランドからの独立を宣言したが、1918年にソ連に併合された。
- ② スターリンはロカルノ条約を破棄してラトヴィアに軍を進駐させ、ヴェルサイユ体制の破壊を進めた。
- ③ ソ連はペレストロイカの一環として、1988年にエストニア、ラトヴィア、リトアニアが連邦から離脱することを認めた。
- ④ リトアニア人はドイツ騎士団に対抗するため、14世紀後半にポーランドと同君連合を結んでヤゲウォ朝リトアニア=ポーランド王国をつくった。
- ⑤ リトアニアを盟主とするハンザ同盟が14世紀にバルト海を含む北ヨーロッパ商業圏を支配した。

(9) 下線部9に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

49

- ① 粛清や弾圧は続いたものの、政権基盤が固まったことから、1933年に新たな憲法を發布し、憲法に規定された信教の自由や民族間の平等を完全に実現した。
- ② ソ連共産党第20回大会でブレジネフ第一書記がこの人物の批判を行った。
- ③ 第二次世界大戦の最中、カイロでローズヴェルト、チャーチルと会談を行い、カイロ宣言を発表した。
- ④ ネップにかえて全面的な社会主義建設に踏み切り、1928年に第1次五カ年計画を開始した。
- ⑤ レーニンを追放して、ソ連共産党の実権を握った。

(10) 下線部10に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

50

- ① イギリス・フランス・ドイツ・イタリアの間でミュンヘン会談が開かれたが、ズデーテン地方のドイツへの割譲は最後まで認められなかった。
- ② 社会党のブルムを首相とする人民戦線内閣が成立した。
- ③ ソ連はこの国で起きた民主化運動の要求には応じなかったものの、ナジ首相を擁護した。
- ④ ヒトラーはこの国を解体し、国全体をドイツの保護国とした。
- ⑤ 民衆の不満を背景にドブチュク政権が成立し、民衆も改革を支持したが、ワルシャワ条約機構軍により弾圧された。